

『条例等の制定施工への不信感』

『長崎市の安全管理への不信感』

『陳情への回答能力等、基本能力への不信』に関する陳情書

2022年11月29日

長崎市議会議長

深堀 義昭 様

陳情人

長崎市新地町12-8

新地湊市商店街会

会長 大塚



1, 陳情の趣旨

- ・制定施工された条例の実効性をどう確保しているのか？  
現場での実効性が全く感じる事が出来ない
- ・予算不足を理由に放置される設備不備があるのに、付度等による予算は  
即日「数千万円が市議会以外で決定」となる不思議
- ・陳情等実施すると書面での回答が返ってきますが、改善や実効性は全く不明  
何より明確な物が見えない

2, 陳情項目

- (1) 喫煙・ポイ捨て条例について
- (2) 地盤沈下による歩道等不備の放置について
- (3) 陳情等への回答能力、その他基本能力への不信感



3, 陳情内容

- (1) 喫煙・ポイ捨て条例（長崎市ごみの散乱の防止及び喫煙の制限に関する条例）  
平成5年に制定されたものだと思います  
市は施策策定し実施する責務があり、市民・事業者等、何人にも責務がある  
更に違反者へ「勧告」「命令」をすることができ「罰則」もある  
しかしながら、現場で見ると「効力」どころか周知徹底のさえ疑わしい。  
市としての責務を果たしているのか？

- ・監視や指導員等は見かけない
- ・張り紙などがあっても直ぐにそれ自体がゴミになって放置されている
- ・観光客などへ如何示すのか？
- ・観光関連事業者であるタクシーの客待ち中の喫煙ポイ捨て多数

市の指導は全く何も実施していないのか？

指定地域に多少の表示は有るが、地面等で目を引くものではない、その為張り紙ポスター等での対応が時々あるが、直ぐに朽ち果てゴミと成っているそのゴミの管理も出来ていない

観光地での観光客は、更に無頓着である上「目立たぬ表示」の為見ていない観光客へ厳しく言えない風潮もあり如何示すのか？

更に馬鹿げている事は、観光関連事業者であるタクシードライバーによる【喫煙ポイ捨て】は『何をか言わんや』である

ドライバーへ何度もその場で注意するも、皆「知らなかった」と言う

挙句に『俺たちは生活がかかっているのだ！』と凄まれる事多々、警察を呼ぶも、何も全く解決せず、コロナ禍で客待ち台数減ったが、今も毎日「喫煙ポイ捨て」行われている

この様な状況に長崎市は如何この条例の責務を負うのでしょうか？

お決まりの「努力します」では答えになりません

具体的な「施策策定し実施」を御提示ください

## (2) 地盤沈下による歩道等不備の放置、安産管理への不信感

2019年、町内でのマンション建築に伴い基礎工事の際「地下水汲み出し」の為隣接する歩道が沈下し

溝蓋が浮き マンホール蓋浮き 石畳がガタガタ 街路灯傾き 等々

発生している事を『中央総合事務所地域整備2課』へ報告し、現状確認頂きそれぞれ現認いただきました

- ・溝蓋はマンション建築施工会社が別物を設置
- ・マンホールは段差をコンクリートで埋めただけ、基本解決になっていない
- ・石畳は抑え込み部分的にコンクリートで補正し大きな段差は石畳を取り払いアスファルトで補修しただけ、基本的解決と成っていない
- ・街路灯は傾いたまま放置

既に「3年以上放置」の状態です

コロナ騒動で、観光客も減りランタンフェスティバルも無い状況下で、事故に

繋がっていないが、2023年1月にはランタンフェスティバル開催です  
歩道の傾き、段差等で転倒事故が起きないか？

街路灯は「ランタン飾りつけ」の支柱できな意味合いもあるが、果たして傾いた  
物がその安全強度を確保できるのか？

毎年何処かの自治体で「整備不備による事故」が報告されます

何故繰り返されるのでしょうか？

それは上記の様に【放置】されるからでしょう！

役所内では口癖の様に「市民の安心安全最優先の為」と言われるが、実働が全く伴  
わない証拠事例です

更に追及すると「予算が・・・」と言い、更にはメール等を全て「無視」する  
その様にして「放置」されて行きます

「予算」に関して

数万円でも当然議会等での承認をもって「予算化」されての事と思っていますが、  
数千万円の予算をいとも簡単に「決定する方法」もあるようですね

2017年の出島表門橋開通イベントは、特定の業者から簡単な絵と共に

【 3日間 3,000万円 】の提示があり、担当部署が関係各所へ打診し承認会議  
を実施したが『否決』された

ところが翌日より担当部署は、各所へ「泣き入れ」で頭を下げて回り・・・

何故か『半分の予算が復活承認』された

イベント実行は、民間からの協賛金を募り、有料席を設置しチケット販売まで実施  
イベント内容は

・「当初の絵」では橋を中心に  
出島全面にマッピング表示であった筈なのに

橋から海側だけのマッピングと照明イベント

このお金の流れは、何なのでしょう？

人の安心安全にかかわる予算を何年も放置するのに、数千万の予算を簡単に決め  
てしまう事が何故できるのか？

イベント自体、誰でも経験値があれば実行可能なレベルであり「コスト感」の担保  
が何処にあるのかさえわからない？

以前の質問へ対しても長崎市は「我々はプロではない」と認めている

では、内容精査出来ない者が、なぜ数千万の予算を簡単に組めるのか？

付度なのか？ 言葉悪いが官製談合的物なのか？

長崎市は直近約10年間、特定業者案を積極的に受け入れ採用し入札から設置まで  
毎年5,000万～1億円近い予算が使われてきました

その傍らでの人の安心安全を放置です

こんな事が安易に行われてきたことで「財政赤字」と成る事必然でしょう

去年は町内で「街路樹の管理不足」による交通事故も起きました

人の安心安全を担保するよりも、大切な予算組と言うのが有るのでしょうか？

人の命より大切な自治体事業が有るのでしょうか？

これらの長崎市の行動は、不信感以外の何物でもございません

出島表門橋開通イベントでの前記致しましたお金の動きを明確に御説明頂きたい  
と思います

その上で、人の安心安全への予算組との相違を含め具体的にお答え頂きたい

### (3) 陳情への回答能力等、基本的能力への不信感

以前の陳情への回答では、

- ・ 今回の経験を踏まえより慎重に・・・
- ・ 地域との連携を密にし、よりきめ細かい点検等に取り組み・・・
- ・ 夜景観光の説明・・・??
- ・ 夜景に係る職員の育成・・・ 見識を深め・・・ 技術的スキルアップへ

これで責任回答と言えるのでしょうか？

言い訳ばかりの希望的感觉での言葉としか思えません

まったく具体性も無く、またその後の改善さえ見えない何とも無責任な回答では  
ありませんか？

短い部署担当で直ぐに移動をするシステムで「プロ」が生まれない環境であり、当  
然担当者に「プロ志向者」も存在しないでしょう

回答には大きな矛盾が存在している

市庁舎の新築を見ても同様で

機能面の充実を図るための設備は、重要であると思うが「華美な外観デザイン」や  
何処の高級ホテルかと思うばかりの吹き抜けやエントランス空間が必要なのか？

その為にどれだけの費用が使われているのか？

また建築現場内で行われている、施工元請け関係者によるパワハラ的現場管理を  
見て見ぬふり？理解できていない？ 何れなのか？

発注者としての管理能力がそもそも無いと言いたいのか？

上記、全てが「能力に欠ける為」であれば、そもそもの資格は全て「無」である

と言わざるを得ない

#### 4、総括（まとめ）

回答要求は以下の通りです、具体的に明確な回答を御願ひ致します

- ① 長崎市は如何この「喫煙ポイ捨て」条例の責務を負うのでしょうか？  
努力目標ではなく具体的な「施策策定実施方法」を御提示ください
- ② 歩道地盤沈下による弊害をどの様に今後いつどの様に処置頂けるのか？  
事故が起きるまで放置続けるのか？  
具体的な方法とスケジュール感の回答を願ひます
- ③ 出島表門橋イベント実行予算の様に、簡単に数千万円の予算を出入りさせる方法にはどんなシステム、どんな決まり事があるのか？  
人の命への安心安全に係ることを放置しても、担当部が泣きを入れて回れば生まれる数千万円の予算組の方法とはいかなる方法なのか？  
付度予算？ 付度用基金？ 官製談合的？
- ④ そもそも今の長崎市に、自治体運営能力があるのか？  
陳情ひとつへの回答さえ具体的に儘ならぬ能力で何が出来るのか？  
結果財政赤字必須と成る事、当然では無いのか？  
予算検証能力のない者が、予算構築執行するのだから無駄ばかりでしょう  
陳情への回答をどの様に具現化するのか明確に具体的にお答えください
- ⑤ 市庁舎新築現場パワハラ的状況理解されているのでしょうか？  
現職員も既に入入りしているので、必然として状況は目にも耳にも入る筈であるが見て見ぬふり「容認」なのか？  
更に、今更ですが「華美な外観 エントランス等」なぜ必要なのか？  
市民の血税の使い方として如何なものか？  
「お金」「仕事」への大きな感覚のズレ

その他：

役所内でよく耳にする事

「単語」は専門用語を多用する方はいますが「意味を理解せず」使用している方が殆どであり恥すべき行為である事を理解すべきでは無いか

唯々、「私は・・・だぞ」とパワハラ的態度も多く見え、先般もある現場でいきなり、「瑕疵責任」と声を上げられた方が居たので説明を求めたところ「全く知識の履き違え」であった

多くの部署で同様の事が起きているのではないかと心配と不安に苛まれる

また『カーボンゼロシティ宣言』されましたが、どこまで理解して何をするのか？

大きな疑問です

例えば世界は勿論、日本国民も注目のひとつである「EV等」について、何と自治体格差が大きい事か、購入補助金は国からは一律補助されますが自治体補助には大きな差があります

東京都は「45万程」ですが長崎は「公共交通機関のみ」ですね、カーボンゼロシティ宣言都市ですよ

まだまだ「不思議」がたくさんです（自治体ガチャとも言われ・・・）

財政赤字の自治体だから・・・

長崎！大丈夫か？ 安心して生活出来るのか？

以上